

株式会社ダイイチ インターネットEDIシステム 納品データ作成時の注意点

2009年 7月 7日初版
2009年 7月 15日改版

株式会社ダイイチ

納品データ(EOS)作成時の注意点

■訂正可能項目について

EOS分の伝票について、原則として発注データで受信して頂いた内容を元に納品データを作成ください。
欠品などにより訂正を行う場合、**納品日・納品数・原価金額(合計)・売価金額(合計)**以外の項目は、
訂正を行わないください。

※欠品した商品には必ず欠品理由コードをセットしてください。

※発注データにセットされた納品日がALL0(00000000)だった場合、納品予定日をセットしてください。

※納品日に、発注日より過去日付はセットしないでください。

ただし、生鮮部門(「野菜」「果物」「畜産」「水産」「惣菜」)のEOS伝票については、

容量・原単価・売単価を訂正可とし、必要に応じて、**備考**に産地情報や固体識別番号をセットしてください。

納品データ(FAX・電話分)作成時の注意点

■伝票番号・採番ルールについて

FAX・電話分の伝票は"99800001"~"99899999"の範囲('998'固定+連番5桁)で伝票番号を採番してください。

※伝票番号は、3ヵ月間は重複しないように採番してください。

■明細行数について

明細の行数は最大**9行**となります。

明細の行数を10行以上、セットしないようご注意ください。

■ヘッダ項目設定時の注意点

①必須項目は下記の項目とします。

伝票番号・納品日・伝票タイプ・伝票区分・

小売企業コード・法人コード・法人名(漢字)・部門コード・部門名(漢字)・

店舗コード・店舗名(漢字)・取引先コード(送信先コード)・取引先名(漢字)

※発注日には、ブランクを設定してください。

②伝票タイプについて

伝票タイプに"21"(FAX・電話分)を固定でセットしてください。

■明細項目設定時の注意点

①必須項目は下記の項目とします。

商品コード・伝票行番号・商品名1(漢字)・**商品名2(漢字)**・容量・入数・納品数量・原単価・売単価

原価金額(容量×納品数量×原単価)・売価金額(容量×納品数量×売単価)

※但し、原価金額及び売価金額算出において容量を必要としない商品に関しては容量に"1"をセットして下さい

※発注数量は、"000000"を 欠品理由コードには、ブランクを設定してください。

②商品コードについて

商品マスタに未登録の商品を登録する場合は、

諸口コード(ダミーコード)として**ALL9(9999999999999)**をセットしてください。

■トレーラ項目設定時の注意点

①必須項目は下記の項目とします。

原価金額合計・売価金額合計